

大豊町の概要	
位置	東経133度40分 北緯33度45分 (位置は地籍調査班の調査による)
面積	320.54平方杆 東西 32杆 南北 28杆 部落数 86
人口	9,236 男 4,407 女 4,829
世帯数	3,354(10月末日現在住民基本台帳調)

大豊

館報

昭和59年12月1日発行

全世帯配布

編集 大豊町中央公民館

発行 大豊町中央公民館

印刷 高知印刷株式会社

秋空にとどろく

煙火を合図に開幕

大杉中のプラスバンドの
行進曲の響き、体育指導
員、入野圭一君の先導で選
手の入場行進、五百個の風
船玉が各選手の手手に、
ドドン、パンパン…ふたたび
あがる煙火を合図に聖
火の入場・地元代表笹岡周
二君が「遙々オリンピア」
の地で灯された火が、今八
千杆のみなから、新装な
った、西峰小のグラウンド
に運ばれ、仁尾内区長さん
が運良く早々と赤印のひも
を引いて、ニマリ、各
チームとも、各競技に精進
をこめて、大豊町民体育祭
の幕が今…はじけだした。
(ここは近藤英雄
君の解説です) 大きな拍手
とともに、五百個の風船が
一斉に、紺碧の西峰の秋空
に高く高く舞い上ります。
西峰公民館長、前田さん

達の苦心の演出、一段と拍
手は鳴り、いやが上にも、
大会ムードが盛り上がりま
す。選手代表「大杉中、若
原チームの下村幸正」君の
選手宣誓でいよいよ競技開
始。一番、富くじ。赤の印
のついたのを引くと、得点
に三ポイントとあって、真
剣に…川口立川チームの
選手、仁尾内区長さん、主
事さんその他、関係
者の皆さんのご苦勞が察せ
られます。各地区ともに入
場式は、川口立川チームが
はじけだした。この
勝ち、西峰もビタリとつて

第13回 町民体育祭

『西峰』堂々の三連覇

町民千五百余集う

開催に地区挙げて準備

／駐車場づくり二日間

重機うなりっぱなし

「地元土木業者、路線バスも

全面的な協力」交通もスムーズに

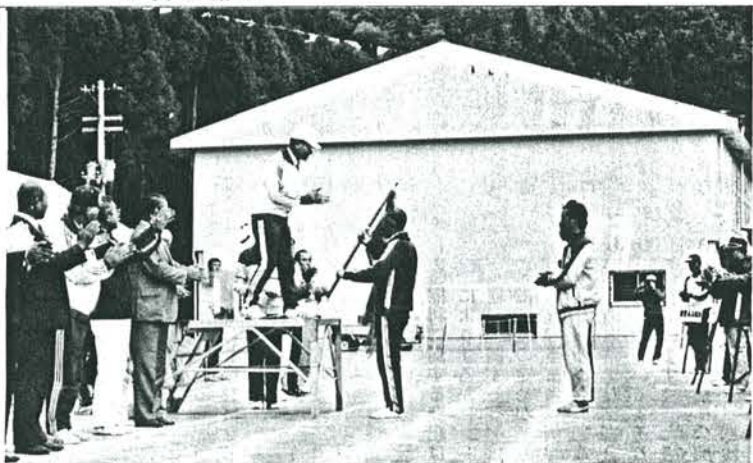
度々の打合せ会で、一番力をいただき、選手や一般お陰様で、立派な体育祭が
心配されたのは、交通と駐車場の問題でした。特に路線バスに運ばれて、各地区公民館
車場の問題でした。西峰地区の婦人会の始め、町民の皆様に心か
線バスの運行のさまたげに、方々、公民館や、学校の先にお礼申し上げます。写真
なりはしないか等でした。生方も連日に亘り準備や、で、当日の雰囲気再現し
が、豊永観光さんのご好意、受け入れ体制にかりつぱ、てみました。
でバスの便も全面的な協力なしのご協力をいただき、



選手宣誓は下村幸正君



聖火は燃える、点火する笹岡周二君



三度優勝旗は前田館長の手に入



応援者も一寸といっぶく



バトンタッチに思わず力が入る責任リレー



善戦むなしく、昨年度準優勝・西豊永・上池館長から風船ついでカップが返還される



準優勝は大田口



プラスバンドの皆さん、ありがとう(大杉中)



腕が折れそう、カマキリ決勝間近



三位は東豊永



地区民総出で応援にも力が入る西峰チーム

(2面よりつづく)

の規模の地下宮殿が有るそうですが発掘されていません。一四代(の神宗)万歴帝の陵を一九五七年の発掘調査の時に掘り出し壮麗な地下宮殿を観光させています。地下宮殿は三殿五つの大きな部室がかなり、大理石が真白にみがかれて構築され柱は一本も使っていない石の室(しつ)です。

各石の室は、すごい厚い大理石の扉で遮断されています。扉も大きな、かきも見せています。一六世紀の中国の工芸品の技芸の高さを示す福葬品の数々は博物館に陳列されています。

壮麗や
地下宮殿に風冷へて
梅雨冷への
石扉の厚し地下の宮
地下宮に
冷えて一帝二后の墓
地下宮の
壁字壁画も石冷えに
三十六座
石人石獸羅纏ひ
石冷の黄泉の石室
潜りぬけ

定福寺仁王門完成

盛大に落慶大法要

一六十六人の稚児練りも

千人あまりの人出で境内で焼失したものを今回再建する手踊りや、花取り踊りのはぎっしり。増信徒約一千したものです。焼け残った三百年からの浄財六千万円いた二体の仁王尊も修復のをもとに、昭和五十六年二月に着工、三年越しの工事がこの程完成した。同寺の仁王門は明治十八年の火災



新たに教育委員決まる

上村孝行氏 70歳 (柚木)

平田隆城氏は再任



去る九月の定例議会で、九月末日任期満了となった新たに柚木の上村孝行氏が平田、小林、両委員の後任として、平田隆城氏を再任 (写真)

善意のご寄附

ありがとうございます

大豊町社会福祉協議会

- 一金 一〇〇、〇〇〇円也
- 上村 純子様 (連火)
- 一金 三八、六一五円也
- 匿名ご希望

伝統を受け継いで祭りの行事脈々と

岩原・永淵神楽、大砂子獅子舞、川戸百々手



当屋の庭で終日舞われる岩原神楽

旧暦九月は各地で秋祭りが行われます。国の重要文化財の指定を受けている、岩原神楽が去る十月九日 (旧九月十五日)、岩原集落の今年のお当屋、小笠原俊信氏宅で盛大に舞われた。当日は、手前から町の教育委員会にも関係せなどあり、高知短大の先生や、写真家の方々と、多数の参観者もあり、岩原の里には祭りの太鼓が響き渡るの楽しい一日でした。神楽の保存会長、下村信幸さん達の手で受け継がれて行きます。一方大砂子では、町指定の獅子舞が、新田神社の秋祭りに、保存会のメンバーの吉松英喜さん達で奉納され、この地に長く伝わる、郷土の芸能が保存されて行きます。又本町には古くから、神社の祭りに必ずと云うていい程、実施されて来ます。百々手の行事もあつた。今でも残っているのが、上桃原や鹿谷、そして川戸の神社などです。丁度、教育委員会の文化財担当の上村典義さんも川戸、今年はそのお祭りのお世話という事で、カメラで祭りを取材していただきました。こうして各地に残されている伝統文化をいつま

でも絶やさず残していきたいものです。郷土の伝統文化を少しでもご理解いただき、町民皆んなの手で護っていただくために写真で紹介してみます。

嬉しい／＼風の便り……

この稿を起している最中耳よりな便りがよせられまわく。近藤社会教育班長いわく、館長ネエ……こんな話があるんじや……、これを聞いた館長は涙を流して喜ぶと思ふんじや……、実はネエ……「そうもったいをつけず早う言うてみや……」さあそれがネエ……青年団の人がねえ、青年団員の事業として、神楽の保存を手がけてみたいんじやと。そう云うて相談があつたぜ……やれ嬉しや、神楽保存会の下村信幸さんとも、神楽の事を話す度にいつも話は後継者の事になり、同じ集落の小学生や中学生に手ほどきはしているけれど、やがて高校、大学と進学し村に残る若者は少く、嘆いていたところ、まったく渡りに船、連合青年団の諸君に期待するところ大です。



川戸神社に今も伝わる百々手の行事



大砂子の獅子舞



永淵神楽を演ずる子供

成人式

案内

期日 昭和六十年一月十五日
時間 午前十時～午後三時
場所 大豊町農工センター
該当者 昭和39年4月2日から昭和40年4月1日までに出生した者で住民基本台帳に登録されている者
(注) 大豊町出身者で町外在住の方でも大豊で成人式をやりたい方は、十二月二十日までに、中央公民館まで申し出て下さい。

やまびこ

句会 作品抄

ずいき干す	猪野 博文	錆を喰くキャタピラの鉄	吉川 邦子
破れ障子に猫		時雨来る	
秋山 成子		長野 稔恵	
夕映えや父の匂いで稲架乾		木洩れ日にまきさしのべる石	
路の花		鎌倉 澄広	
黙る村 松山に厚く霧溜め		草の実や我に恋する藪の道	
て		石川みゆき	
草刈りを休まず鎌で柿をむ		あねおと実穂はじける通	
く		学路	
鎌研いでしたたる水の秋深		赤い服着た子	
し		夕やけとに	
火の色ない炭窯の黒 菊咲		森 武司	
かす		現われる	
穂すきへ汽車ゆるやかにカ			
ーブせり			

編集後記

葉は重く、リンドウを埋める。

◇静かに立てば、足の裏に昔日の旅人のさんざめきが感じられる。

◇釣瓶落しの陽が樹々を染める、晩秋は我が心の季節……淋しさの果なん国ぞ……今朝の新聞……防衛費一兆棒こたわらず。民の懐は冷めたるコアラのひと匙を喰りて、そのうすにがき舌触りに、われは知る、テロリストの、かなしき、かなしき心。 (啄木)

皆さん良いお年を。 石川